

令和6年5月14日

保護者の皆様

仙台市立向陽台小学校  
校長 舟山 秀人

## 非常事態の対応について（お知らせ）

薫風の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本日避難訓練を実施いたしました。非常事態はいつ起きるか分かりません。訓練だけではなく、防災教育等の活動を通して、児童が被災時に自分の命を守れるように、今年度も指導を行ってまいります。

児童の安全確保につきましては、登下校時の対応も含めて、下記と裏面「非常時対応マニュアル」のとおりとなっております。内容をお読みになり、ご家族で被災の際の対応についてご確認いただきますよう、お願いいたします。

なお、6月には「引渡し訓練」を実施する予定となっております、詳細については改めてご連絡いたします。

### 記

#### ◆非常事態になり連絡が取れない場合

- ・電話がつながらず、電話連絡が機能しない。
- ・一斉メール配信は、メールが届きにくい、または届かず機能しない。
- ・停電のため、学校の Web ページも見ることができない。 など

学校からの連絡がなくても保護者の方は安全確認の上、学校にお越しくください。状況によって引き渡しになります。

#### ◆災害が発生し引き渡しになる場合

引き渡しになる目安は、地震の場合仙台市が**震度5強以上**であり、道路や地域の安全が確認された場合です。風水害の場合は、通学路に危険な箇所が点在している場合です。 ※被害状況によって変わります

◇引き取りができる方は、「引き渡しカード記入票（児童個票裏面）」に書いてある方（保護者、家人：保護者に依頼されている大人）です。

- ① 児童は、校庭で待機しています。（※ 待機場所が変わった場合は掲示します。）
- ② 担任が児童の引渡しを行います。

順次、引き受ける方を「引き渡しカード記入票」で確認しながら児童を引き渡します。時間までに引き渡しができない場合は、それ以降、お子さんは、避難所：本校体育館で待機させます。（※引取りに来られるまで学校に待機させることとなります。）

◇一斉メール配信を行います。

◇災害時の171伝言ダイヤル「171→2→022-372-7530」を活用し、学校からのメッセージを聞くことができるように手配を進めます。

# 非常時下校体制

仙台市立向陽台小学校

レベル	事象レベル1	事象レベル2	事象レベル3	事象レベル4	事象レベル5	
事象	台風	通学路・建物の被害が全くなし	通学路・建物の被害は確認できない	通学路の一部で危険個所が発生している可能性あり、点検が必要	通学路に危険個所が点在し(冠水・倒壊), 建物の被害や落下物も見られ大変危険	
	地震	仙台市震度4以下			仙台市震度5弱 わずかな余震	<b>仙台市 震度5強以上</b>
	不審者	<u>学区外の遠方</u> で不審者情報有り 露出・声掛け	<u>学区外の近隣</u> で不審者情報有り 露出・声掛け	<u>学区内</u> で不審者情報有り 露出・声掛け	<u>学区内</u> で不審者情報有り <b>危害を加える予告</b>	<u>学区内</u> で凶悪犯情報があり危害を加える恐れ有り
	弾道ミサイル	<u>他県にJアラートが発令</u>	宮城県に発令され, 県外の領土・領域へミサイル落下	宮城県にJアラートが発令され, 県内他市町村へのミサイル落下	宮城県にJアラートが発令され, 市内へのミサイル落下情報を覚知した場合 ※被害状況に応じて事象レベルを引き上げる	
対応	児童の下校	<b>通常通り下校</b>	<b>学級・学年で時刻をそろえて下校</b>	<b>全校一斉集団下校</b> 職員の通学路点検・地区巡視後, 安全確認できた場合	<b>学校引き渡し 全児童学校待機</b>	
	連絡方法	状況に応じて一斉メール配信		一斉メール配信		
	職員	※下校時に学級指導※			待機場所へ移動→学級ごと整列→人数確認 晴天時：校庭 荒天時：体育館等 保護者へ引き渡し	
<b>【確認事項】</b> ① 事象レベル4以下であっても, 状況に応じて下校させず学校待機もあり得る。その場合は一斉メール等で保護者に連絡する。 ② 下校後, 家族が不在で自宅に入れない等の場合は, 地区の避難所または学校へ来る。						

## 弾道ミサイル発射に係る対応

このことにつきまして、平成29年9月13日付けで仙台市教育委員会より通知があり、本校では、Jアラート等による緊急情報が発表された場合、下記のとおり対応いたします。保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

### 記

#### 1 児童が在校の場合

○校内にいる場合の避難について指導するとともに、必要に応じて訓練などを実施して緊急時に備える。

##### 【校内での避難】

- ・校舎や体育館へ避難する。
- ・窓から離れ、机の下に潜るか、廊下や床に伏せて頭部を守る。
- ・安全が確認されるまで、校内で待機する。

#### 2 登校前、児童が在宅時の場合

○Jアラート等による緊急情報が発表され、宮城県が該当している場合 → **自宅待機**

○日本の領海外に落下した場合 → **通常登校**

○日本の領土・領海に落下した場合 → **臨時休業**

※ただし、状況により「臨時休業」の措置を講じない場合、一斉メール配信で家庭に連絡する。

#### 3 児童が登下校中の場合

○本校職員および保護者が、通学路上の児童の安全確保に努める。

※職員は迅速に登下校中の児童の安全確保に当たれるよう、ただちに通学路に向かう。保護者も同様に、自宅近隣等において可能な限り通学路上の児童の安全確保に努める。

##### **文部科学省から通知があった避難方法**

##### 【屋内での避難】

- ・窓から離れるか、窓のない部屋（場所）へ移動する。
- ・机の下に潜る、布団に潜る、床に伏せるなどして、頭部を守る。

##### 【屋外での避難】

- ・近くにある地下道やできるだけ頑丈な建物に避難し、窓から離れる。
- ・近くに建物がない場合は物陰等に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

##### 【ミサイルが落下した場合】

- ・近くにミサイル等が落下した場合、屋外にいるときは口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉めて部屋を密閉する。必要に応じて目張りなどをする。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して情報収集に努めるとともに、行政からの指示があれば、それに従い、落ち着いて行動する。

# 地震の災害対応マニュアル(家庭用)

地震発生

- 机の下に潜るなどして頭部を保護し、身を低くする。
- 建物、照明など落下すると危険なものから離れる。

## 児童の行動(登下校中)

- 頭部を保護し、身を低くする。
- 車道に出ない。
- ブロック塀、窓ガラス、建物等から離れ、身の安全を確保する。

安全確保

- 揺れが収まったら、教員の指示に従い校庭に避難を開始する。

第一次避難

- 揺れが収まったら、学校・自宅近くの公園のいずれかのうち一番安全に移動でき、一番近い場所に避難する。
- ※保護者が家庭にいない場合は、学校または公園に避難する。
- ※明石南の児童は、大きな道路(七北田・成田線)の信号が消えている場合、渡らずに公園に避難する。

- 校舎・体育館の安全確認が行われた後、屋内(体育館が第一優先避難場所)へ避難する。

引渡し

第二次避難

- 保護者・教職員・地域の人があるまで待機し、合流後、自宅・学校に避難する。

- 引渡し実施。
- (仙台市で震度5強以上で引渡し)**
- ※仙台市で震度5弱の場合教師が見守って集団下校

安否確認  
引渡し

- 自宅に避難した場合、教員による自宅訪問で安否確認
- 学校に避難した児童は、保護者に引き渡しを実施。

## 学校から保護者への連絡方法

- 緊急連絡できる ⇒ 「緊急メール」「学校ホームページ」「災害伝言ダイヤル171」にて連絡。

- 緊急連絡できない ⇒ 災害が大きい状況。  
**仙台市で震度5強以上なら引渡し。**  
学校からの連絡の有無に関わらず、在校時間なら学校へ、それ以外なら、まずは自宅へ。

## 保護者の動き

仙台市で震度5強以上の地震発生

学校からの保護者への連絡方法

- (在校時間以外) 自宅へ向かう
- (在校時間中) 学校へ向かう

(児童が不在の場合) 通学路沿いの公園へ向かう

引渡し

(児童が不在の場合) 学校へ向かう

※引渡しできるまで学校にて児童を保護します。

※引渡しは、**仙台市震度5強以上**で行います。

## 児童の行動(在校中)

※災害発生より翌日以降の動向については、「緊急メール」「学校ホームページ」での連絡となります。「緊急メール」が使えない場合、学校より各町内会の掲示板へ連絡の貼り紙をします。



# じしんがおこったときどうするか！（かがくねんじどうよう）

## がっこうのいき・かえりのとき

- あたまをまもり、体をひくくします。
- 車のみちに出ないようにします。
- ブロックべい、まどガラス、たてもものからはなれます。

- ゆれがおさまったら、がっこう・いえ・ちかくのこうえんのどこかのうち、いちばんあんぜんにいけて、いちばんちかいばしょにひなんします。
- ※おうちの人がいえにいないときは、がっこうか、こうえんにひなんします。
- ※あかいしみなみの人は、大きなどうろ（2ちょうめと3ちょうめのあいだのみち）のしんごうがきえていたときは、わたらずにちかくのこうえんにひなんします。

- いえの人・先生・ちいきの人が来るまでそのばしょでまちます。いえの人か、先生か、ちいきの人が来たら、いえやがっこうにひなんします。

- いえにひなんしたときは、あとでせんせいが、ぶじかどうかをたしかめにいきます。
- がっこうにひなんした人は、おうちの人にひきわたしをします。

じしん

みをまもる

さいしょのひなん

2かい目のひなん

ぶじかどう  
かたしかめ  
ひきわたし

## がっこうにいるとき

- つくえの下にもぐるなどして、あたまをまもり、体をひくくします。
- たても、しょうめいなどおちるとあぶないものからはなれます。

- ゆれがおさまったら、せんせいのいうことをきいてひなんをします。

- こうしゃ・たいいくかんのあんぜんがたしかめられたら、はじめにたいいくかんへひなんします。

- おうちの人きたらひきわたしをします  
しんど5きょうより大きいじしんのとき、ひきわたしをします

じしんがきたら、どのようにするのか

たしかめておきましょう！



# 地震が起こったときどうするか！（上学年児童用）

## 学校の行き・帰りのとき

- 頭を守り、体をひくくします。
- 車の道に出ないようにします。
- ブロックベい、まどガラス、たて物からはなれます。

- ゆれがおさまったら、学校・家・近くの公園のどこかのうち、一番あん全に行けて、一番近い場所にひなんします。
- ※お家の人が家にいないときは、学校か、公園にひなんします。
- ※明石南の人は、大きな道ろ（2ちょう目と3ちょう目の間の道）のしんごうが消えていたときは、渡らずに近くの公園にひなんします。

- 家の人・先生・地いきの人が来るまでその場所でまちます。家の人か、先生か、地いきの人が来たら、家や学校にひなんします。

- 家にひなんしたときは、後で先生が、ぶじかどうかをたしかめに行きます。
- 学校にひなんした人は、お家の人に引き渡しをします。

地震

身を守る

さいしょのひなん

2回目のひなん

ぶじかどうかたしかめ

引き渡し

## 学校にいるとき

- つくえの下にもぐるなどして、頭を守り、体をひくくします。
- たて物、しょう明など落ちるとあぶない物からはなれます。

- ゆれがおさまったら、先生の言うことを聞いてひなんをします。

- 校しゃ・体育かんのあん全がたしかめられたら、はじめに体育かんへひなんします

- お家の人 cameたら、引き渡しをします  
しん度5強より大きい地震のとき、引き渡しをします。

地震がきたら、どのようにするのか

たしかめておきましょう！

